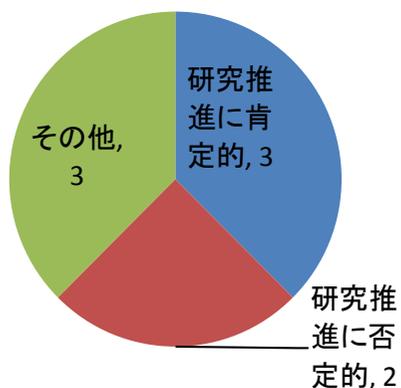


中間取りまとめに対する意見募集結果

- 平成22年8月25日に「脳とICTに関する懇談会中間取りまとめ」を報道発表
- それにともない、8月26日～9月26日の1ヶ月にわたり意見募集を実施
- 期間内に届いた意見は6件でした。(締切り後にさらに2件の意見あり。)
- 8件の意見(個人6件、団体2件)の内訳は研究推進に肯定的な意見が3件、否定的な意見が2件、その他の意見が3件でした。

意見の詳細



種類	個人・団体	意見
肯定的意見	団体	脳とICTの研究は注目しており、脳とICT研究は大賛成である。
	団体	信号遅延が数百ミリ秒以下のネットワーク型BMI技術は、自動車用インタフェースへの応用が期待できるため、是非とも研究を推進して頂きたい。
	個人	アメリカが行っている人間の脳波を電磁波によって送るという技術の開発を日本でも是非やるべきです。
否定的意見	個人	この取りまとめが示す政策は、実行に移すべきではない。これはお金と引き換えに人の人格を売る行為です。
	個人	ICTと脳科学を無理矢理今の時点でくっつける研究する必要を何処にも感じない。
その他の意見	個人	司法分野では、当事者・証人等がうそをつくことが不可能になり、司法の根本にかかわる重大な影響が生じることが予測される。
	個人	ポンチ絵と箇条書きの文章の羅列では、結論がはっきりしません。
	個人	心の読取りについて、本人すら気づいていない心が出てしまう事が発生する。読み取られたくないことへの取捨選択はどのように行うのか。